

Doc.No : NR010926-4

2001年9月26日

## 物流業務のコストダウンを狙い、ロジスティックセンターを設立

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、物流業務を全社的かつ効率的に管理・運営するため、10月1日にロジスティックセンターを新設します。

このセンターは、従来、各部門・事業所単位で運営・管理されている重量物輸送、一般輸送、構内輸送、倉庫および関連作業を含めた物流業務全般を全社的に一元管理するもの。物流業者の入札による選定、梱包部材などの集中購買、物流業務の集中管理や物流専用のコンピューターシステムの導入による業務の軽減などで、物流に関わるトータルコストの10%削減を目指すとともに、受付時間の延長や休日対応、物流情報の配信による物流品質・サービスレベルの向上を狙います。

さらに、彦根地区事業所に保守パーツの出荷ヤードを開設して、半導体・液晶・印刷業界別で取り扱っている保守パーツの在庫・梱包・出荷業務を統合することにより、国内外の顧客向けの配送を短縮すると同時に、国内外にあるサービス拠点が抱える保守部品在庫を含めて整理・圧縮します。

また、調達部品については、入庫・仕分けなどの業務を内製化することにより、社内の雇用の創出を図ります。

ロジスティックセンターは、全社的な物流管理を担う機能を本社に置き、分社化を視野に入れて、物流業務の改革と事業化を目指します。